

③の場合

イラン・イラクとアメリカ・イギリス

米英の経済戦略と真っ向から対立するアラブ諸国。イラン・イラク戦争、湾岸戦争、イラク戦争、そしてイスラム国の登場。負の連鎖が繋がる。

イランにあったイギリスの石油会社

第2次世界大戦前、イギリスはイラン国内にアングロ・イラニアン石油という会社を持っていた。この石油会社はイギリス85%、イラン15%という利益分配で、さらに「どのくらい石油を採ったか」等、資源を持つイランにちゃんと報告しなかった事からイラン国内で不満が爆発！

2次大戦後、イランは国会で「石油資源を国有化する！イギリスには渡さない」と決定したんだ。（アーバーダーン危機）



イランの政治をひっくり返す

もちろんイギリスは黙ってない。仲間のアメリカを呼んで一緒にイランの民主主義をぶっ壊してしまう(；(E))そして亡命中の元独裁者を帰国させてクーデターを支援。何とイランは民主主義から独裁政治に変わってしまったのだった！



民衆から「イラン・イスラム革命」が起こる！

イランは急激にアメリカチックな国に変わる。街にはミニスカートの女性まで現れる状態。でも資本主義を導入して貧富の差は拡大、石油は欧米にどんどん持って行かれる。さすがに国民から「このままじゃヤバイ！」という声があがった。

そして1979年イスラム法学者ホメイニを中心とした革命運動が起こり、政権を奪取。イスラム共和制を勝ち取った。（イラン・イスラム革命）



なんか、むちゃくちゃだね

